

第 63 回全日本総合男子ソフトボール選手権大会

▼二回戦

会場：八戸市新井出多目的広場(C 球場)

期日：2017/9/17(日)8:53～

広島大学	0 0 0 0 0	0	
環太平洋大学	1 5 2 0 X	8	※規定により 5 回コールド

広：石丸（2回）田中（2回）－ 西村

環：糸数（4回）児玉（1回）－ 山内（4回）長谷川（1回）

本塁打：宇根（環）

三塁打：山本、岡本（以上環）

二塁打：須藤（環） 黒木（広）

戦評

1 回裏、1 番宇根が初球をセンター前に弾き返し無死 1 塁、続く 2 番浜本がバントヒットで 1.2 塁。3 番細川が手堅く送って 1 死 2.3 塁の先制のチャンス。4 番山内は四球を選び満塁、5 番須藤は浅い外野フライでランナー帰れず 2 死満塁。6 番中村の 2 球目がワイルドピッチとなり 1 点先制。2 回にはこの回先頭の 7 番山本が 1-2 から左中間を破るスリーベースヒットで出塁。8 番三谷が四球で 1.3 塁と繋いで、9 番岡本の 5 球目、ヒットエンドランが三塁線を破るタイムリースリーベースヒットとなり 2 点を追加。1 番宇根は四球となり無死 1.3 塁、1 死となったが、3 番細川が 1-2 と追い込まれながらもセンターに犠飛を上げて岡本が生還し 4 点目、4 番山内も粘って四球で出塁し 2 死 1 塁から 5 番須藤がレフト横を破るタイムリーツーベースヒットでテンポラリーランナーの宇根、細川がホームを踏んで 6 点目。3 回には 1 死から 8 番三谷がレフト前ヒットで出塁、2 死となったが 1 番宇根が初球をバックスクリーンに豪快に運ぶツーランホームランで 9 点目。守っては先発糸数が 4 回を無安打 2 四球に抑え 5 回から児玉にスイッチし、ヒットは許したものの後続を抑えて 5 回コールドで勝利し初のベスト 8 に駒を進めた。